

田村榮太郎 （おんむら） 國史學者。明治二十六年九月二十日群馬縣生れ。

昭和四十四年十一月二十九日没（八三—一九六）。高崎商業學校卒。家

業の人力車宿・履物商に従事の傍ら農民運動に参加。大正十二年群馬

共產黨事件の連坐として下獄。昭和四年上京。唯物論研究会に入り、雜

誌『歴史科學』等論文發表、爾後著述生活。

著書『明治初年の政治的農民一揆（附天明饑饉一揆）』（昭和五年一

月二十日立藝戰線出版部「文藝戰線叢書」）、『日本農民一揆録』（昭

和五年六月二十日圓盤書房）、『歴史の人物を扶ぐる』（昭和九年一

月二十日白揚社）、『明治文化研究論叢』（合著・明治文化研究会

編、昭和九年四月七日一元社）、『戦争を説く』（昭和九年五月二十

日白揚社）、『忠臣蔵物語』（昭和九年八月二十五日白揚社）、『板

倉伊賀守』（昭和十六年十一月二十日二十日三元社）、『陸奥安積郡

矢田部之研究』（昭和十七年二月一日矢田部奎武刊）、『川路聖謨』

（昭和十七年十月二十日日本電報通信社出版部「郷土偉人傳叢書」）、

『勳皇烈士の學ぶ』（合著・東京新聞社編、昭和十八年八月二十一日

建設社）、『外人の觀た明治の日本』（昭和十八年十月二十日嶺南書

房）、『おとくせ』（昭和二十四年一月十日潮流社）、『東京歴史散歩』

（合著・高橋碩一編、昭和二十二年二月五日河出書房「河出新書」）

等。